

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 I, III, V 】
2 実施対象者	下妻市立高道祖小学校 1～6年 201名 保護者30名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 体 育 )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>オリンピック・パラリンピック選手による「努力の足跡」などのお話を伺い、自分の目標をもつことや努力することの大切さについて知り、これからの生活に生かそうとすることができる。</p> <p>稽古や競技の様子を実際に見たり、体験をしたりすることにより、オリンピック・パラリンピックスポーツへの興味・関心を高める。</p>
5 取組内容	<p>○ 東京 2020 教育プログラム（国際オリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」）を活用し、学年の実態に応じて、スポーツ及びオリンピック・パラリンピックの意義や歴史に関する学習を実施し、興味関心を高める。</p> <p>○ 教室や廊下にオリンピック・パラリンピックに関する情報を掲示する。</p> <p>○ 集会前に、6年生が講師紹介資料を作成し、各学級で広報活動をする。</p> <p>○ 「オリンピック選手のお話を聞こう」集会の実施</p> <p>・ 10月26日(金) 13:10～14:40</p> <p>講 師 平岡 拓晃 さん(筑波大学)</p> <p>2012年 ロンドンオリンピック 柔道男子60キログラム級銀メダリスト</p> <p>場 所 高道祖小体育館</p> <p>参加者 全児童、保護者</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演</li> <li>演題</li> <li>「失敗＝ダメ」じゃない」 (途中メダルを見せていただく)</li> <li>・ 稽古披露</li> <li>・ 代表児童体験</li> </ul>



	<p>○ 「パラリンピック選手からお話を聞こう」集会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月6日(木) 10:40~12:10</li> <li>講師 佐々木ロベルト泉 さん (Avanzare つくば選手, ブラインドサッカー-日本代表)</li> <li>魚住 稿 さん (Avanzare つくば監督, 前ブラインドサッカー-日本代表監督)</li> <li>場 所 高道祖小体育館</li> <li>参加者 5・6年児童, 保護者</li> <li>内 容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラインドサッカーの紹介</li> <li>・講話 「見えないって」どういうこと</li> <li>・体験談 (佐々木ロベルト泉さんのお話)</li> <li>・「見えない」体験</li> <li>・実技体験</li> </ul> </li> </ul> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック選手による「失敗はだめじゃない」ことや「目標をもって努力することの大切さ」などのお話を聴き、児童一人一人が、自分の目標をもつことやあきらめなくて努力することの大切さを実感し、今後に生かそうとする考えをもつことができた。</li> <li>・実際に競技を見たり、体験したりすることにより、柔道やブラインドサッカーへの理解が深まり、オリンピック・パラリンピックへの興味、関心が高まった。</li> </ul> 
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック種目とパラリンピック種目の両方を取り上げた。</li> <li>・教室や廊下にオリンピック・パラリンピックに関する情報を掲示し、児童の興味関心を高め、意欲付けをした。</li> <li>・集会時に、全学年に発達段階に応じた役割をもたせ、児童のかかわりを多く設定し、全校でオリンピック選手を迎える意識を高めた。</li> <li>・集会前に、6年生が講師紹介資料を作成し、各学級で広報活動をした。</li> <li>・学区内の道場より畳を借用し、体育館に柔道場を設定した。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単発の事業になってしまわないように、どれだけ事前に児童の興味関心を高められるかが重要である。そのためには、一連の活動を見据えた計画が必要となってくる。総合的な学習の時間や特別活動等の時間を活用し、合科的な学習活動を設定する必要がある。</li> <li>・講師に、講演や演習の目的等を明確に伝え、より事項のニーズに合った取組となるように連絡、調整を密にする必要がある。</li> <li>・保護者、地域への広報を工夫することで、多くの方々が参加できるようにするべきであった。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体の市内実施競技への応援参加が予定されているため、応援グッズの作成や観戦等を通してスポーツへの関心を高める取組を継続して実施していく。</li> <li>・東京2020教育プログラム「ようい、ドン!」の取組状況をもとに、児童や家庭に周知しながら、東京オリンピック、パラリンピックに向けた興味・関心を高めていく。</li> </ul>